

# 住宅外壁下地用既調合軽量セメントモルタル 防火・準耐火構造用軽量セメントモルタル

## イビハウスモルタル

住宅外壁下地用モルタルとして求められる最高の性能と作業性を誇り、工期短縮によるコスト低減を目的とした既調合軽量セメントモルタルです。

### 特 長

- ☆ 軽量でダレが無いいため、追っかけで17mmの厚塗りができ、工期の短縮がはかれます。
- ☆ 理想的な配合により、収縮率が小さく、クラックの発生を大幅に減らします。
- ☆ 仕上げ面が平滑で、刷毛引きも可能です。
- ☆ 無機質骨材により、防火性に優れます。

### 標 準 仕 様

荷姿	適応部位	適応下地		標準仕様	塗厚	標準塗面積
20kg/袋	外壁	ラス下地	木摺、合板 (アスファルトフェルトメタルラスを規定通り施工して下さい)	清水 6.4 ℓ	16mm	約1.3㎡
		ノンラス下地	特殊モルタル合板	清水 5.6 ℓ イビフレック 0.8 ℓ	17mm	約1.2㎡

※上記適応下地は16mm厚で防火構造・準耐火構造45分、17mm厚で準耐火構造60分となっています。

荷姿	適応部位	適応下地		標準仕様	塗厚	標準塗面積
20kg/袋	外壁	ノンラス下地	コンクリート ALCパネル	清水 5.6 ℓ イビフレック 0.8 ℓ	10mm	約2㎡

※上記標準仕様以外での施工による不具合につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご注意ください

### 性 能

試験項目		品質基準	試験結果
練上り率 (%)		±5 以下	-1.61
軟度変化 (%)		20 以下	2.6
凝結時間 (時間-分)	始 発	2-00 以上	3-40
	終 結	12-00 以内	6-50
曲げ強度 (N/mm <sup>2</sup> )		1.47 以上	2.84
吸水量 (g)		50 以下	49.1
透水量 (ml/h)		1 以下	0.65
長さ変化 (%)		0.15 以下	0.10

※上記試験結果は J A S S 15M-102準じた試験方法による測定値であり、保証値ではありません。

※品質基準は湿式仕上技術センターの製品品質基準

## 施工方法【ラス下地（木摺・合板）の場合】

### ①下地の点検・清掃

- ①下地を健全な状態にして下さい。  
(下地の状態、アスファルトフェルト防水紙・ラスの浮きやたるみ等の確認)

### ③塗り付け

- ①コテ圧を十分にかけ下塗りを行い、1回の塗厚10mm以下にして下さい。追っかけて所定の塗り厚にして下さい。
- ②仕上げ種類により、金ごて押え、木ごて押え、刷毛引き等をして下さい。

### ②練り混ぜ

- ①イビハウスモルタル1袋に対し、清水6.4ℓを加え、モルタルミキサーなどで十分に練り混ぜて下さい。  
※練り足し、水を加えての練り戻しは避けて下さい。

### ④養生

- ①寒風や直射日光を避け、必要に応じシート掛け等の養生をして下さい。
- ②乾燥の激しい場合には、塗り付け翌日以降に散水養生をして下さい。
- ③次工程までの工程間隔は、夏季7日以上、冬季14日以上を養生を基準として下さい。

## 施工方法【ノンラス下地（特殊モルタル合板・コンクリート・ALCパネル）の場合】

### ①下地の点検・清掃

- ①下地を健全な状態にして下さい。  
(脆弱層、レイタンス、汚れ等の除去)  
特殊モルタル合板は、ジョイント等の処理を前日までにして下さい。
- ②イビフレックス3倍液を塗布し、乾燥させて下さい。

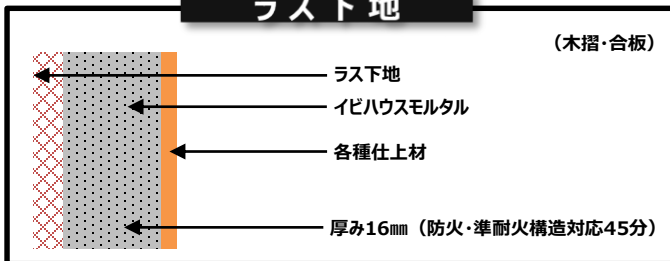
### ②練り混ぜ

- ①イビハウスモルタル1袋に対し、清水を標準仕様数量とイビフレックス0.8ℓを加え、モルタルミキサーなどで十分に練り混ぜて下さい。  
※練り足し、水を加えての練り戻しは避けて下さい。  
※特殊モルタル合板下地はメーカー施工書を参照下さい。  
  
※以下コンクリート面と同様に施工して下さい。

## 施工例【図解】

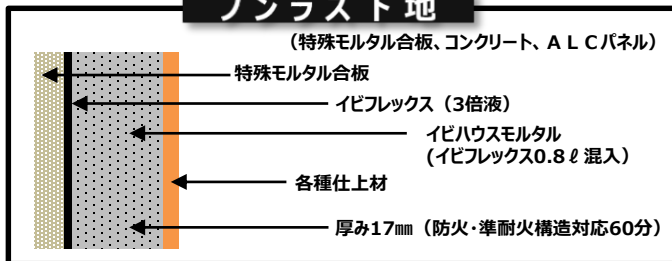
### ラス下地

(木摺・合板)



### ノンラス下地

(特殊モルタル合板、コンクリート、ALCパネル)



## 使用上の注意

1. 気温が3℃以下の時には使用しないで下さい。  
(気象条件(気温・湿度・日照・風速)に留意して下さい。)
2. 混練に使用する水は、水道水等の清水を使用して下さい。
3. モルタルは加水後1時間以内に使い切して下さい。
4. 粉袋の保管は室内の湿気の少ない場所に保管して下さい。
5. 開封後は使い切るか、残りは空気・湿気を遮断して下さい。
6. 指定材料以外の材料の混入は避けて下さい。
7. 使用後の器具は速やかに水で洗浄して下さい。
8. 製品は製造年月日を確認し、6ヶ月以内に使用して下さい。

記載内容は資料・情報・データに基づいて作成したものであり、実際の現場において結果を保証するものではありません。また、使用に際して適切な使用方法と安全対策に注意の上、お取扱い下さい。内容は、断り無く変更する場合がありますので、ご了承下さい。

2022.12